



黒木小だより

【みんなが幸せ・人にやさしく・夢・元気】

令和5年7月3日(月)第6号 校長 北嶋幸一



黒木小学校HP

『命の講話』 6月26日(月)全校朝会

6月25日～7月1日までの一週間は「黒木っ子の心を見つめる教育週間」でした。全校朝会で次のような話をしました。

平成15年7月1日、長崎市でとても痛ましい事件が発生しました。加害者が中学1年生であったことから、翌年度から「命の大切さ」や「人を思いやることの大切さ」そして、「憧れや将来への志を持つこと」等についてじっくり考える期間として「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。長崎県内では、5月から7月までの間に、一週間を設定し、毎年、取り組んでいます。そこで、今日は、その初日として校長先生から「命の大切さ」について1冊の絵本を紹介します。

※「命はどうしてたいせつなの」(大野正人作/ハラアツシ絵/汐文社)の読み聞かせ
命があること、生きていることは決して当たり前ではありません。だから、自分と他人の命を傷付けないために、そして、「みんなが幸せな生活」を送るために、校長先生とたったひとつの約束をしてほしいのです。それは、「自分がされていやなことは、人にしない、いわない」です。みんなで言ってみましょう。この約束を守って、みんながハッピーな毎日を送りましょう。

ろう学校との出会いの交流

6月19日(月)に県立ろう学校の子供たちが黒木小学校に来てくれました。今回が、今年度初めての出会いの交流会でした。

はじめに体育館で出会いの交流をしました。数集まりゲームやじゃんけん列車をして楽しみました。黒木太鼓の披露もしました。その後、低・中・高学年に分かれて交流を行いました。自己紹介やボウリングゲーム、一緒に太鼓を叩く交流などを行いました。みんなで楽しく取り組みました。とてもよい笑顔で活動できたことを、うれしく思っています。みんなが幸せな気分になった交流会でした。ろう学校のみなさん、ありがとうございました。

日	曜	7月の行事予定等
1	土	土曜授業 校内相撲大会
4	火	放課後子ども教室
5	水	和太鼓練習(6校時)
6	木	フッ化物洗口
7	金	特別日課(14:40下校)
10	月	特別日課(14:40下校)
11	火	特別日課(14:40下校) 絵本侍さん
12	水	特別日課(5校時まで) 水泳納め会・懇談会
13	木	フッ化物洗口
19	水	和太鼓練習(6校時)
20	木	第1学期終業式(給食なし) 11:10頃下校
21	金	夏休み開始

7月は「ココロねっこ運動強調月間」です

「ココロねっこ運動」とは、子どもたちの心の根っこを育てるために、大人の在り方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。長崎県では、あいさつ運動や地域で子どもを見守る活動など、子どもの健全育成のための取組を「ココロねっこ運動」として推進しています。

「大人が変われば子どもも変わる、できることから、大人から」